





故 小野梓先生 肖像

故 小野梓先生 遺墨

宿毛に帰りし後、熟思ふより畢竟斯く審聽の束縛を受くるに畢竟帶刀の身にて士官の列不在ルハこそ些る所偏軍東京にて左近へなづかく今ドリ士林と争し平人ヒツジンと為しの身と自由スルすこそ今日の上策なりと或る日其由を萱塙家兄弟等不詮し平人の頭カミを出すことを爲すに至り然るに伊賀イハ之を用き面マスクけをもつて擗ハグなく他家へ養子ヨウズふ往く躰コトコトて平人ヒツジンとありたりき。この平人ヒツジンが事モノヲ孰シテ知シムて火大抵オカルトの短氣クイクイをもと認め今時ハ平人ヒツジンでさへ士林シリンよ兩ツバりたゞ思スルひ脇アキラカさしの一本一本も差セ一毫思スルふ世エダの中なる小慾コト欲。帶刀タケヅチを抜ハサフき捨スルて平人ヒツジンと爲るよハ誠志シメシテ得シテ遠アリじゆう。由ヨリさゝやきな小ぶる余ハサシ見スル所モノをきいだれや。心ハまくせ景シカクかシカクと豊ヨロシく氣ヒし遂スルユ平人ヒツジンとハあき

故 小野梓先生ノ遺稿中自家ノ経歴ヲ手記セル一冊子アリ
右ニ掲ゲシハ其一節ニシテ手跡ノ儘シモト寫眞石版ニ附セシ
モノナリ

祝東京專門學校之開校 小野梓君演說筆記

本校、恩人大隈公敬賓及ニ本校諸君、全ノ不學短識ヲ以テ職ニ本校、議員ニ列シ其員ニ加ハルハ甚
々僭越、事ナリ然リト尾本校、恩人大隈公ハ全ヲ
許シテ其末ニ加ハタシメ校長議員幹事講師諸君モ
亦甚々全ヲ擴充セサルモ、
ナラ告フ不學短識ヲ忘レ妄リニ其員ニ具ハレリ唯
全ヤ不學短識本校ニ袖フ所ナカルヘシ(否)茲レト
モ既ニ隈公ノ知ニ蒙リ又諸君、許ス所トナム全ハ
唯我カ強也ト越心トヲ以テ力ヲ此校ニ竭シリ、及

ハニ限リハ隈公ノ知ニ酬ニ諸君、望ニ對フヘシ（拍手）

頼クハ本校、恩人及ニ諸君ハ全ノ不學短識ヨリ培チ
ニ其熱心ヲ取り全ヲシテ知己ノ人ニ酬エルノ一端

ヲ得セシメヨ（喝采）

余カ本校ノ議員ニ列シ熱心ト勉強トヲ以テ事ニ茲
ニ從ハント欲セシモノハ唯リ隈公ト諸君ト、知遇
ニ感セシノミニアラス蓋シ又別ニ自カラ奮フ所ア
リテ然ハナリ余ハ從未一箇ノ冀望ヲ抱ケリヤノ冀
望トハ他ナシ全カ生前ニ在ツテ吾カ微カツ尽シテ
成立セシ一箇ノ大学校ヲ造テ之ヲ後世ニ遺シ私ニ

後人ヲ利スルアラント欲スル是レナリコノ冀望タ
ル余カ年未ノ志望ニシテ無ニ用意セシ所ナリト虽
氏其事、大ニシテ且ツ難キヤ未々之ヲ全フスルノ
歩ヲ始ムルヲ得不啻苦今日ニ至リ然ハニ今ア隈
公カ天下後進ヲ利濟スル仁丁ルニ遇セキ東京專
門學校、起ルニ及フ全レ豈ニ微力ヲ此間ニ尽シ平
生ノ冀望ヲ全アスル、歩ヲ始ムサルヲ得シヤ顧フ
ニ若ニ隈公ニシテ余ノ之ニ興カルヲ許サヌ諸君ニ
シテ全ヲ擅弁ニヘアルモ余ハ尙ホ自カラ請クニ此
事ニ從ヒ微カ十ヤテモ全カ力ヲ尽シ余カ平生ノ冀

望ラ全フタルノ途ニ就クナハヘレ然ヘラ况ニヤ今
隈公ヘ全ノ之ニ与カルニ許シ諸君ハ甚々之ヲ贊ナ
セス全ニ宣ニ微力ラ此間ニ尽サムルヲ得シヤ（喝迷
夫レ一滴、而水モ聚ニシハ大洋ヲ成ニ一粒ノ土砂
モ合スレハ地球ヲ為ス全カ力微シナリト無モ熱心
シテ之ヲ久シキニ用フシハ又或ハ犧テ世ニ利益ス
ル所アラン半（謹聽喝迷）

余カ本校ニ尽サント欲スル、心情實ニ此、如ニ而
シテ余カ本校ニ望ム所又隨ラ大ナリ全ニ本校ニ向
テ望ム十數年、後ニ漸クコノ專門ノ學校ヲ改良前

進ニ邦語ラ以ラ我カ牛羊ヲ教授スル大學ノ位置ニ
進メ我邦學問、獨立ニ助ケルアテンコトヲ（謹聽
（大喝半）顧ニテ看ルハ一國、独立ニ國民ノ独立ニ
基ニ國民ノ独立ハ其精神、独立ニ根サス（謹聽
拍キ）而シテ國民精神ノ独立ハ實ニ學問、獨立ニ依
ルモノナレハ其國ヲ独立セシムント欲セハ必テス
先ツ其民ヲ独立セシメサルヲ得ス（大喝半）其民ヲ独立
セシメント欲セハ必テス先ツ其精神ヲ独立セシ
メサルヲ得ス而シテ其精神ヲ独立セシメント欲セ
ハ必テス先ツ其學問ヲ独立セシムサルヲ得ス（大喝

半是レ數、天災ニ出ルモノニシテ勢力ノ必至ナル
モノナリ（謹聽）今、時ニ当テ紅海以東独立國ノ貿
易ニ全々自國、旗章ヲ揚タルモノハ寥々トシテ
曠天ノ星、如ニ（謹聽）印度ハ既ニセヒラ英國ニ属シ
爪哇ハ其制ヲ荷蘭ニ受ケ暹羅ハ其命ヲ英國ニ聞キ
近時安南ニ并々致レテ佛蘭西ニ帰スル等漢々タル
亞細亞大陸ノ廣キ能ク独立、貿易ヲ全フシ自國ノ
旗章ヲ翻スモノ、唯我支那トナルノミ（謹聽）我
ト支那ト其立ツ所既ニ此、如シ其弊決レラ處ニ易
キニアニヘ況シヤ我邦、如キハ現時條約ノ改正入

一キアリ日清韓、關係ヲ正スヘキアリ強國土壤ヲ
接シテ我カ隙ヲ窺フアリ富土海城ヲ淳ヘテ我カ利
口攘シシト欲ヘハモノアリ其因勢、却迫スル決シ
テ立靜、時ニ非ラサハナリ（謹聽喝采）惟フニヨノ間
ニ处シテ独立、貿易ヲ全フスル事甚々容易テス苟
、モ我國民、元氣ヲ養ヒ其独立、精神ヲ發達シシラ
シ難ニ謹聽（謹聽）夫、国民、元氣ヲ養ヒ其精神ヲ獨
立シシムハ、術頗ル少ナヤラス然レトモ其永遠、
基キ開キ久耐、礎ヲ建ツルモノニ至テハ唯々学問

ヲ独立セシムルニ在ルノミ(大喝采)我邦學問、独立
セサレ久シ王仁儒學ヲ傳ヘラヨリ以本今日ニ至ル
迄テ既ソ二千全年ノ間未々嘗テ所謂ル獨立ノ學問
ナルモ、アリテ我カ半身ヲ教授セシラ見ス(謹聽)或
ハ直ニ漢土、文學ヲ學ヒ或ハ直ニ英米、學問ニ
擅シ或ハ直ニ佛蘭西、學風似セ今ヤ又独立ノ學
ヲ引テ之ヲ半身ニ授ケント欲スルノ傾キアリ(苦笑
拍手謹聽)其外國ニ依頼シテ而モ變轉自カラ握ル所
ナニ此ノ如シ顧フ、是レ學問ノ獨立セシムル、妙
術ナル半全、断ニテ其述ラサルニ知ルト(謹聽喝)

朱柳モ學向ヲ獨立セシムルノ要所甚多フニ然レ
トモ今日一事々人勉メテ學者ヲシテ謹学、便宣ヲ
得セシム(謹聽拍手)隈公彦テ梓ニ誦テ曰一ハアリヨリ我
邦學問ノ獨立セサルニ又ニ而ニテ其未々獨立セサル
ニハ職トニテ學者ニ与フルニ名譽ト利益トヨ以
テセサルニ因ル是ヲ以テ今ノ時ニ當テ我政府ハ森
林ヲ擇テ之ヲ皇家、有ニ帰シ皇家ハ其收益ニ散シ
テ之ヲ天下、學者ニ上ヘ之ヲシテ終世學問、蘊奥
ヲ講ルニ便ツ得セシメ以テ學問ヲ獨立ゼシメ

サルヘカテスト公ノ言ノ所実ニ善シ天下ノ学者宣
シク心ラ德トミヘシ（大喝坐）而ニテ余ヲ以テ之ヲ見
レハ夫、外國・文書言訛ニ依テ我子弟ヲ教授シ之
レニ依ニニアラサシハ高尚、学科ヲ教授スルコト
能ハサルカ如キ又是レ学者講學ノ障礙ヲ無スモ、
ニシテ學問、獨立ラ謀ル所以、道ニアラサルヲ知
ルナリ（拍手）夫レ人類ノ力ハ限リアリ万象ノ學ハ究窮
マリナシ限リアル、ナシ以テ究窮マリナキ、學ヲ進
ヘ終始之ニ從事スルニ猶未旦ワ足ラサルニ覓ニ然
ルヲ今外國、言語文章ニ依テ之ヲ教授セハ之レ・

カ子弟タルモ、殊ニ學問、實体ヲ講スルノ力ヲ分
テ之ニ外語、修習ニ用井以テ大ニ有用、時ヲ耗ヒ
為メニ諱學、勢力ヲ達ニシテ被ラシ所謂ル講學、蘊
奥ヲ極ムル、便利ヲ碍碍スルニ至ラム是レ豈ニ字
問、獨立リ諱ハ所以、道ナテ威（謹聽喝采）敬顧フニ
皇家ヲ輔ケ天下ノ學者ヲ優待スルハ内閣諸君他
之ヲ善、セシ唯タ其障礙ヲ謂キ學者ヲシテ學問、
實体ヲ講スルノ力シ寛ラシムルモノニ至テヘ在
野ノ人ト虽モ亦タ其責ヲ分メサルヲ得ニ謹聽喝采
而シテ本校、邦語ヲ以テ専門ノ學科ヲ教授ニ漸ク

子弟講學

便

子弟講學便得セシメニヒ欲スルカニキ蓋ニ其責ナ
尽ス、一十ラン(柏手)惟フニ本校ニニテ其擇ル所ヲ
誤マラス忍耐勉強シテ之レカ改良前進、從事シ十
數年、後之ヲ進メテ大學、位置ニ達致スカラセハ余レ
其學問ヲ獨立セシムル、道ニ於テ裨補ツナカラサ
ルヲ信スルナリ(大喝采)是レ全ガ本校、而テ冀望ス
ル所以、首要ニシテ微力ナカラモ全ノカリ出シ之
ヲ茲ニ用ヰント欲ヘル所ナリ校長議員幹事謹師及
ニ学生諸君、必テス余、冀望ヲ嘉ミシ共ニ其力ヲ
出シ以テ本校、隆盛ヲ謀リ恩人隈公カ萬余、義金

ヲ捐テ、此校ヲ建テ年、數千、公資ヲ擲テ此校ヲ
維持セラル、盛意ニ背ク、キラ信スルナリ柏手

大喝采

余カ本校ノ将来ニ冀望スルコト此、如、夫レ大ナ
リ然レトモ天下、事物ハ緩急順序アリ苟クモ其緩
トラ擇ハス其順序ヲ失スルアテハ一身ノ細事
猶木旦々舉アス况シヤ天下大事、一タハ子弟教育
、事ニ於ラニヤ(謹聽)校長君ハ開校、詞ニ述ヘテ曰
ヘシク天下更始新主義、群起ハ都鄙、子弟争テ之
ヲ講ニ早ク之ヲ實際ニ應用セント欲ス速成、教授

六

今日ニ切ナルヤ如シト本邦今日ノ事情實ニ此如
シ而ニテ特ニ政治法律ニ二學也キハ是モ今日ニ
達成ヲ要ヘルカ如シ論入ヘ者或ヘ都鄙政誥、畧
タルノ裏ニ天下千年ノ法律政治、學ニ流レテ理學
ヲ修メサルヲ咎ムト虽モ是レ未久今日ノ實情ヲ窺
メサル、罪ナリ抑天子天下、子弟々ルモノ、理學ヲ修
ムラ、哲ラ、政治法律、修業ニシテ走ル、國家ノ
美事ト謂フ一ナラス然レトモ今日ノ子弟ニシテ政
治法律、二學ニ赴キ猶トシテ所在皆ナ是レナル
ハ支レテ偶然ニ出ルニアサルナリ喝采拍手元リ

事物ノ供給、皆其需用アルニ根サヌ苟モ其需用ニ
シテ右スルケカラシメン半供給決シテ之ニ應スル
コトアラサルナリ惟フニ今ノ子弟々ルモノ相率テ
政治法律、學ニ赴キ猶トシテ所在皆ナ是レナル
ハ政學法學、今本邦ニ需用アリテ之ニ應セシテ欲
スヘモ、マラサル十キタ得ンヤ大喝采、今全ヨ以
テ之ヲ觀ルニ本邦政治、改良ニハキセノ法律、前
進スヘギモ、一ニシテ足ラス殆ント皆ナ之ヲ更始
入ヘキカ如シ(大喝采)是レ所謂ハ政學法學ニ需用ア
ヘキノニシテ子弟、相率ヰテ此ニ學ニ赴クハ蓋シ

此需用ニ應セシト欲ニハモノナルノミ謹聽ニシテ手
喝矣然ルヲ論者其本ヲ極メス一概ニ其末ヲ取テ谷
ノ今日ノ牛弟ニ歸ス余未ニ其可ナル所以ラ知テサ
ルナリ(大喝)顧アニ此弊ラ一轉シ天下ノ牛弟ラシ
テ其学歩ヲ理學ノ域ニ取ラシメント欲セハ罕ク天
下ノ政治ヲ改良シ其法律ヲ前進セシメサルヘヤラ
ス大喝(未肯)之ヲ改良前進セシラキ牛弟ノ法政ノ
学ニ赴カタカラシコトヲ裝モハ御モ是ニ誤コレリ
(謹聽)大喝迷今ヤ本校ノ政次法律ヲ先ニシ而ニテ理
學ニ及ホスモハ其意敢テ理學ヲ輕ニテ之ダ後ニ

セシモニニアテサルヘニ唯々今ノ時ニ当テ政治ヲ
改良ニ法律ヲ前進スルニアラサレハ天下ノ牛弟ヲ
尊ニ其学歩ヲ理學ノ域ニ進マシムルニ便ナラ入政ニ
先夫ニ二学ヲ盛ニシ其得業学生、力ニ依テコノ
政治ヲ改良シコノ法律ヲ前進シ謹聽ニシ以ニ大ニ
形体ノ字ヲ達ムシムハ、地主ヲガサント欲ラヘルモ
ノナラン(喝)是レ実ニ事理、統急順序ヲ得ルモノ
ニシテ全ノ深ノ賛成スル所ナリ但々理學ヲ尊トシ
大ニ之ヲ勤ムルニアラサレハ國土、實利遂ニ收ム
ハカラス(謹聽)シ蓋シ足レ本校ノ世好ニ拘ヘテス

夫、理学、一科ヲ説ケテ子第拜^{數拜}後^手大ニ之ヲ勧ムル
、地安^{コト}サント欲ニルモ、半余其用意、疎ナラ
サルヲ賀ユルナリ^喝走而シテ本校ノ学生諸君ニレ
テ學^ノ理学^ニ從ハント欲スルモノハ宣レ^シ益^ク其
志^望^想ヨ堅クシ今日、風潮以外ニ立チ星日、好葉^ヲ
収ムヘン是レ全^ノ講君^ニ至^ム喝スル所ナリ[（]大喝^主
又^タ正科^外英語^ノ英語^ヲ、^外科^ヲ説ア子第^ニニ^テ深
ク新主義^ノ蘊奥^ニ入^リ詳ニ其細故^ヲ講スル、便^リ
得セシメント欲スルハ、全^ノ講君ト共ニ^テ贊成入^ル所
ナリ惟^フニ新主義^ノ學^ヲ論スル唯^リ其通般^ノ事^ヲ

九

和ルニ止ルヘカニス心テス^ト其蘊奥^ヲ極メ又々臺
ニ觸レ^タ響ニ應シテ之シワ細故^ヲ謹究^スヘキ、事多
フニ然ルニ若ニ子弟ヲシテ自クテ原書^ヲ讀ルノカ
ヲ備メレ^タ斯直ニ海外ノ事^ヲ窺ムル、便リセ、ア
ラシメハ時^ニ臨ミ事^ニ觸レ^タ許多ノ遺憾^ヲ抱クアラ
シメシ况シヤ旦ツ本邦ノ學問^ヲニテ其獨立^ヲ全フ
セシメント欲セハ帶々深^ク歐米ノ新義^ヲ謹ニ大ニ
其基^ヲ陞^クセサルヘカテ入^リ謹聽^ス、^シ本校蓋^シ大ニ
見ハタリ故ニ英學ノ一科^ヲ設ケ我學生ヲニテ大ニ
秉^シ書^ヲ自讀入^ヘ、カナ養^ハシマント欲ス全輩豈ニ

之ヲ賛成セサルニ得ンヤ而シテ其京書ヲ搜クルヤ
コレラ独逸ニ取ニス之ヲ佛蘭西ニ取ニス却テ之ヲ
英語ニ取ルモノハ抑モ是レ偶然，事ニアラサルヘ
シ格キ歎フニ独逸ノ學其深ヲ極メサルニアラス佛
蘭西ノ學其汎ヲ尽サルニアラス然レト々人民自
況，精神ヲ涵養シ其汎深，氣象ヲ發揚スルモノ，
至ニハ勢ニ英國人煙，乞風コ帷サミハコ得ス（大略
米）是レ本校ノ独語ニ取ラス佛語ニ取ラス故ニ之
ヲ英院ニ取リ以テ之ヲ子弟ニ授シルモノナシ（謹註其
用意又密ナリト謂ツヘシ論者間々或ハ廿年子弟ノ

自治，精神ヲ涵養シ其汰滌，氣炎ヲ發揚スルヲ襄
ヒス瑞ニ夫，輩ヲ駆テ之ヲ或ハ伎鹽ナル範圍内ニ
入レ其精神ヲ抑ヘ其文象ヲ制エント欲スルモノア
リ然レトモ是レ國ヲ無ニハ，徒疎也（柏辛喝宋諸君
ハ夫，宋儒，字回，支那ト我邦ノ元氣ヲ屋鈍ニシ
カ一國ノ衰弊ヲ致セシラ知ルナラン彼レ宋儒ハ
人民精神，發達ヲ忌テ之ヲ奔ハス寧ロ數ヲ或ハ範
圍内ニ入レ其自主ヲ失ナハシメ唯々少年，不早コ
シテ徒ニ依頼心ヲ增長セシム其極十年厥自カラ
恍ナス終ニ一國ノ衰弊ヲ致シタヘルアラス（大喝

坐然ハラ論者ト之ヲ寧セス漸々活潑ニ赴クノ氣象
ヲ柳ヘテ之ニ赴ナシノ不將ニ自治ニ入ラント欲スル
ノ精神ヲ制シテ之ニ入ル十カラシメントス是シ豈
ニ宋儒ノ陋軼ニ做フモノニアラサランヤ謹聽今ヤ國

家主多フニ宣シク少主ノ子房ヲニテ益シ自治、精
神ヲ涵養シ愈、恣闊ノ氣象ヲ發揚セレバヘニ豈ニ
敢テ之ヲ抑制ニ以テ漸リ得ニ復セシム狀スハノ元
氣ニ再衰セシムルヲ得ニヤ大喝采而ニテ之ヲ涵養シ
之ヲ發揚スル、要ニ至テハ勢ヒ英國人種、跡ニ迹ハ
從ヒ以テ人生自主ノ中庸ヲ得サル一カラス喝采况シ

ヤ理学、如キモ近時ニ及ンテ米洲別ニ一軌軸ヲ出
シ将ニ市内ニ冠タラントスハノ望ミアリ歎言ノ聲
傳話、機事近時ノ新發明ニ得レモ、啓シト皆ナ米
人、年二十ニサレハナリ英國人種ノ字同・富ム又
決ニテ政治ノ上ニ止マテナルナリ避諱本校蓋シ此
ニ見ハアリ故ニ独逸ヲ採テニ取ラク佛蘭西ヲ措テ
顧ニス却テ苦書ヲ取テ之ヲ我學生ニ授ケシニ大ニ
ヲ誦入ヘ、便シ得センメ往ニ學問ノ獨立ヲ冀ニシ
ト欲スルモ、ナテシ其意誠ニ偶然ニアラサハラ知

八十リ（昭和大喝采最後）全ハ一、聲望う表ニ之ヲ本校
 諸君ニ求メ天下人衆ラシテ本校ノ公明正大ナルヲ知ラシメント欲スルモノアリ是レ他ナニ本校ヲレテ本校ノ本校久シシメント欲スル是レナリ今マニラ五言スレハ東京事門学校ヲレテ政黨以外ニ在テ独立セシメント欲スル是レナリ（大喝采全ハ本校ノ議員ニシテ立憲改進党员ナリ今ミ黨員久ル、位地ヨリシテ之ヲ完一ハ本校ノ學生諸君ラシテ咸”改進ノ主義ニ遵ハシメ皆ナ其旗下ニ属セニナント欲スルハ固ヨリ其所ナリ大喝采然レトモ全カ漫

員タル、位置ヨリシテ之ヲ志ヘハ暗ニ裏ニ学生諸君ヲ誇尊シテ之ヲ我党ノ入ハシノ如千年樹、拳勲アルヲ耻シ大喝采（帷）ニ本校ノ目的久ル学生諸君リシテ連ニ真正ノ學問ラ得セシメ早ク之ヲ実際ニ應用セシメント欲スルニ在サ（謹聽始末故ニ諸君ニシテ真正ノ學識ヲ積ムアラシ半本校ノ音足シリ本校又別ニ求ムハ所アラサヘル（謹聽大喝采）而ニテ異日學生諸君ヲ卒業ノ後政黨ニ加入セント欲セハ一ニ皆ナ諸君カ本校ニ得タニ真正ノ學識ニ依テ自カラヌヲ決ムヘ（謹聽大喝采）本校ハ決シテ諸君ヲ改

進党ニ入ヘト自由党ニ入ヘト乃至帝政党ニ入ヘト
ヨ回テ其親疎ヲ勿々サルトリ(大喝采)惟フニ是レ
全一人、冀望ナルニ止マテ又恩人栗公校長萬貢幹
事及七瀧師諸君モ亦均シソ斯冀望ヲ抱キ共ニ本
校、独立ヲ冀ニ共ニ他、干涉ヲ受ケサハラ望ムナ
ラン然ハフ世ノ通セサルモノ間ニ之ヲ疑フアリ蓋
ニ又晒シト謂フヘン(謹聽)而ニテ余ハ此冀望ヲ
ルヤ独リ之ヲ我東京事門呈校ニ木山ル、三十ニ又
産ノ之ヲ官私ノ学校ニ求メ之ヲニテ各ニ政党ノ以外
ニ独立セシナ以テ學校ノ學校々ハ本質ヲ全フセシメ

シコトヲ望ムナリ(抬手大喝采)

今ナ此開校ノ期ニ遇ニ親ニク其式ニ与カル故ニ聊
カ全カ心情ト冀望トヲ成ヘ以テ此開校ヲ祝スルノ
詞ト皆ニ惟ニ恩人隈公及其他諸君ハ全カ説ク
察ルシヤ天(抬手大喝采)